



わが家のアイドル

椎原にお住まいの
内田 陽久さん・陽子さんの

長男 ^{さく} ^や 策也くん(2歳3か月)

僕は建設重機大好き！
よく近くの川の工事を見に行くんだ！
そこにはショベルカーがいて変身するんだ！
“パイルドライバー” ドドドドッ～

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田市はあいさつ運動実践中

だれにでも 笑顔で明るい あいさつしよう

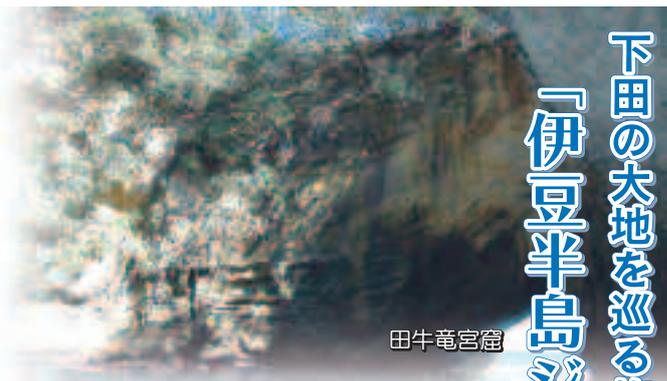


下田の大地を巡る旅

「伊豆半島ジオパーク」

Vol.1

田牛竜宮窟



異なっており、その景観を見比べただけでも、多くの人が印象の違いを感じるのではないだろうか。
こうした伊豆の特徴を紐解くためのキーワードとして、いま「ジオパーク」という言葉が注目されています。

伊豆半島を紐解くキーワード「ジオパーク」

皆さんは、「ジオパーク」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？全く聞いたことがない人もいるかもしれませんが、また、最近の新聞などをご覧になり、関心を持っている人もいると思います。

「ジオパーク」の「ジオ」はギリシャ語で「地球」や「地質」を意味し、「パーク」は「ちろん公園を意味します。」

ジオパークとは、地質・地形・地層・温泉・鉱山など、地球や大地の成り立ちを知ることができる「遺産」を集めた、一つの「テーマパーク」を意味しており、この伊豆半島は、「ジオパーク」という言葉に

ふさわしい、貴重な自然財産にあふれているのです。

例えば、西伊豆の「堂ヶ島」、伊東の「大室山」、下田の「田牛・龍宮窟」など、伊豆には神秘的で芸術的な景勝地が多数存在します。その景色には、実は隠された意味があり、その造形の成り立ちを知ること、伊豆半島の誕生にまつわる壮大な物語を知ることができるとのことです。

伊豆半島の7市6町がひとつになって、取り組みます

「伊豆半島ジオパーク構想」は、伊豆半島の7市6町が、こうした貴重な地質遺産を保全・活用し、伊豆半島という希有な地域の魅力を発信していくという取組です。

今後の広報しもだ巻末では、この「伊豆半島ジオパーク構想」の取組や、下田の主要なジオパークのスポットについてご紹介します。

皆さんもぜひ自分達の住む下田に、貴重な地質遺産があることを知り、それらに隠された意味に触れてください。

問合せ先
観光交流課観光交流係

☎ 223913



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

広報しもだ 2011.5月号

下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>